

徳でああなたの思いを飾るようにしなさい

管理ビショップリック

H・デビッド・バートンビショップ

わたしたちは信仰のために立ち上がり、確固としてキリストのような徳を守る必要があります。

ペイス長老、聞く者と特に話をする者のための、美しい祈りをありがとうございました。

「絶えず徳でああなたの思いを飾るようにしなさい。そうするとき、神の前においてあなたの自信は増[すであろう]。」(教義と聖約 121:45) 12歳の誕生日を間近に控えていたころ、わたしには初等協会を卒業するために達成しなければならないことが幾つか残っていました。その一つは、13の信仰箇条を順番どおりに暗唱することでした。第12条までは比較的簡単に覚えられましたが、第13条を覚えるのにはほんとうに苦労しました。書かれている徳を順番どおりに覚えるのが大変だったのです。しかし、最後まで忍耐強く助けてくれた当時の初等協会の教師のおかげでついに暗記することができました。

それから何年もたち、妻と子供たちとわたしは初めてのマイホームに引っ越ししました。そして、あの初等協会の教師が近所に住んでいることを知り、わたしたちは驚きました。近所付き合いはそれから40年続いています。彼女は、わたしの物覚えの悪さのことをずっと秘密にしてくれています。

「わたしたちは、正直、真実、純潔、慈善、徳高くあるべきこと、またすべての人に善を行うべきことを信じる。実に、わたしたちはパウロの勧告に従うと言ってもよい。わたしたちはすべてのことを信じ、すべてのことを望む。わたしたちはすでに多くの堪え忍んできており、またすべてのことを堪え忍べるようにと望んでいる。どのようなことでも、徳高いこと、好ましいこと、あるいは誉れあることや称賛に値することがあれば、わたしたちはこれらのことを尋ね求めるものである。」(信仰箇条1:13)

今日は、徳と呼ばれる一人一人の持つ特性について話したいと考えています。徳という特質は、クリスチャンとしての生活の土台を築き、内なる自分を外に向けて表現しています。徳を示す英語のつづりを見てみると、*ity* という文字で終わるものがたくさんあります。高潔さ (*integrity*)、謙遜さ (*humility*)、慈愛 (*charity*)、霊性 (*spirituality*)、責任を負うこと (*accountability*)、礼儀正しさ (*civility*)、忠誠 (*fidelity*) など、ほかにもまだあります。同じ形で終わるので、わたしは *ity* で終わる徳を「*ity*」の徳と呼ぶことにします。「*Ity*」は性質、状態、または物事の程度を表す接尾辞です。

地域社会で起こっていることを見渡すだけで、徳という個人の特性が急速に失われていることが分かります。渋滞した高速道路での運転手の態度はどうでしょう

か。運転中にイライラをぶつける人があまりにも多くいます。政治演説には礼儀正しさがほとんど見られません。財政や経済の危機に直面する世界各国では、強欲や汚職が忠誠心や正直に取って代わっているようです。高校を訪れば、下品な言葉遣いや慎みのない服装に嫌でも気づくことがしばしばです。スポーツマン精神に欠けるスポーツ選手もおり、法律や道徳に反する行為が明るみに出ないかぎり、彼らが謙遜になることはほとんどありません。また、かなりの人が、この世で健全な生活を送るための、個人としての責任をないがしろにしていることは明らかです。経済的に困っている人の中には、銀行やその他の金融業者が、自分の返済できる額でなく、限りない欲を満たすだけの額を貸し付けたことを非難する人もいます。必要以上に欲しいという望みが強くなり、よい動機で人のために寛大に使おうという気持ちが消えてしまうこともあります。

兄弟姉妹、社会を覆い、さらに広がっている不健全な思いに迎合する必要はありません。世の中の流れに身を任せ、クリスチャンが大切にしている徳を捨てるなら、悲劇的な結末が訪れるかもしれません。永遠の結果を左右する一人一人の信仰と忠誠心は弱まるでしょう。家族の一致や霊性にも悪影響があるでしょう。社会での宗教の影響は弱まり、法の原則は疑問視され、恐らくないがしろにされることすらあるでしょう。生まれながらの人が被るであろう、こうしたあらゆる問題の種はすでにまかれており、サタンはおおいに喜んでいきます。

わたしたちは信仰のために立ち上がり、確固としてキリストのような徳を守る必要があります。つまり、日々の生活で、先ほど挙げた「ity」の徳を保つのです。徳という特質を最初に学ぶ場所は、愛と模範を示す親のいる家庭です。親が良い模範を示すとき、子供はそれに倣います。悪い模範を示すと、子供は当たり前のように親の教えを軽視し、もっと悪い模範となってしまいます。見せかけだけの模範は信頼を損ねます。

8歳のメーガンはピアノを弾くのが大好きです。最近ピアノの先生が、毎日きちんと練習するなら、ご褒美としてドーナツをあげると言いました。週の間先生がメーガンに「ドーナツの電話」をかけ、その日に練習していたらご褒美をあげるという約束です。ある日、先生が電話をかけるとメーガンは留守で、練習をしたか報告できませんでした。いつもの、週に1度のレッスンで、先生は、練習をしたか聞きました。するとメーガンは、練習はしたと思うと答え、ご褒美をもらいました。ドーナツを見た母親はそのことを尋ね、正直になる必要を理解できるよう助けました。メーガンはお母さんに励まされ、先生におわびの電話をかけました。二人で話しているうちに、メーガンは音楽の書き取りをしていて、実際にご褒美の条件を十分に満たえていたことが分かりました。賢明な、子供を大切に思う親のおかげで得た貴重な教訓は、いつまでも子供の心に残ることでしょう。

15歳になる孫のベンはスキーが大好きで、大会でも何度か優秀な成績を残していました。アイダホ州で行われた大会の前、両親は学校の成績が悪ければ大会には出ないと再度伝えました。アイダホ州サンバレーに貸部屋を予約し、祖父母も来る予定になっていました。ベンは必死になって、自分も両親も望んでいた、高い点数を目指して勉強しましたが、結局、目標の点数にはわずかの差で届きま

せんでした。ベンは大会に出られず、ジュニアオリンピック出場のためのポイントも失ってしまいました。それでもベンは、自分の行動に責任を持つことへの理解を得る貴重な経験をしました。毅然とした態度を崩さないことで、子供を教えようとしている親の方が子供よりも苦しみ、悲しい思いをするというのは実によくあることなのです。

ジェームズ・E・ファウスト管長は、高潔さはあらゆる徳の泉だと言いました。管長は、高潔さは「道徳的価値観という規範を固く守ること」と定義できると話しています。またファウスト管長は次のように述べています。「高潔さとは鍛錬された良心から輝き出るものです。わたしたちの内にある務めであり強さなのです。」（“Integrity, the Mother of Many Virtues,” *Speaking Out on Moral Issues*

〔1998年〕、61、62で引用）高潔さに欠けながら、徳という特質を示すのは難しいことです。高潔さがなければ、正直はしばしば忘れられてしまいます。高潔さがなければ、礼儀正しさは失われます。高潔さが大切にできなくなれば、靈性を保つのは難しくなります。旧約の時代のイスラエルの子らに対し、モーセはこう忠告しました。「もし人が主に誓願をかけ、またはその身に物断ちをしようと誓いをするならば、その言葉を破ってはならない。口で言ったとおりにすべて行わなければならない。」（民数30：2）

トーマス・S・モンソン大管長は何年か前に、次のことを思い起こさせてくれました。「尊厳や正直、高潔さが復讐や怒りよりもはるかに大切であることを教えられていれば、また尊敬や親切が最終的には成功へのより良い機会を与えてくれることを理解していれば、ほとんどの人は絶望的な行為には陥らない。」

（“Family Values in a Violent Society”, *Deseret News*, 1994年1月16日付, A12, 「平和を見いだす」『リアホナ』2004年3月号, 4で引用）

皆さんは、第一次世界大戦での失われた大隊（*Lost Battalion*）や、行方の知れない十部族（*ten lost tribes*）、もしくはJ・M・バリの劇『ピーターパン』に登場する親とはぐれた子供たち「ロストボーイズ（*lost boys*）」のことを聞いたことがあるかもしれません。マイケル・マクレーンのアルバム『忘れられたキャロル』（*The Forgotten Carols*）になじみのある人もいるでしょう。徳という特性、特に「ity」の徳は、決して忘れてたり、なおざりにしたりしてはなりません。徳が忘れられたり、なおざりにされたりすると、それらは必ず「失われた徳」になってしまいます。徳がなくなれば家族はとて弱くなり、わたしたちが個人として持つ主イエス・キリストへの信仰も薄れ、大切な永遠の関係が危険にさらされるかもしれません。

徳という特質を幅広く実践するなら、サタンが社会に与える力は弱まり、人の心と思いと霊を捕らえようとするサタンの狡猾な計画を挫折させることができます。皆で力を集め、徳高いこと、好ましいこと、あるいは誉れあることや称賛に値することを救いだし、守るのは今です。絶えず徳で自分の思いを飾るようにし、徳という特質を生活の中で磨くとき、地域社会、そして学校や会社などの組織は強められるでしょう。子供たちと家族は強固になり、一人一人の人生には信仰と高潔さという祝福が与えられるでしょう。

天の御父は、御自身の子供たちが、高潔さ、礼儀正しさ、忠誠、慈愛、寛大さ、
道徳観をはじめとするすべての「ity」の徳を実践するよう期待しておられるこ
とを証し、宣言します。そうする能力（*ability*）があることを示すため、わた
したちが謙遜（*humility*）になって、自分の責任（*responsibility*）に従って行動
する機会（*opportunity*）を得られますように。イエス・キリストの聖なる御名
により祈ります。アーメン。